

お邪魔します……!!

(うー……)



あっ……あん♡気持ちさらさら……..  
またとすっくら……..

寝言：(おっぱいさらさらから……おほれ  
る……さらさら……)

ふふっ、ままだってたら本気で大きらおっぱいばらばらが好きね。  
子供の頃からちゃんと育乳してきてよかった。  
あんっ、それたしても、ままだのおちんちん本気で大きいららららっ……..  
んっ……また、イっちゃいなさう……最近ままだは仕事が大変なっ……..  
私もう一回もイッくらうのた、全然起きる気配ないも……んっ……ああああ



んっ、ああ……おはよう、吉乃ちゃん



(相変わらずこの起し方だな。吉乃ちゃんは生ませたまの病気で、子供のころからオレが所属していた病院によくきていらした。長い付き合いのせいで恋愛感情が芽生えて、中学の時から主治医のオレに付き合いをせまってくれて、16歳になった途端、同居すると言いついてからは毎日こられた。子供の頃は病弱だったが、今は立派に成長したな。少し回数が少なくて、性欲が強いけど……毎日朝晩最低でも二回ずつだもんな……少し背は小さいが、プロポーションは最高なんだよな。ほんっと、オレの自慢の彼女だ。)

あつ、あん……♡お、おはよろい、イクツ……♡



え…ええ…チン…またか…

(おっぱい……この完璧なプロポーション、そしてこのおっぱい……大好きなのだ……)

んっ、あっ……あれ？  
もう、どうしちゃったの、まさこ？最近目を覚ますとすぐ萎えちゃ  
うんだから。  
ほらほら、まさこが大好きな吉乃ちゃんですよ？  
ねっ？まだいけるでしょ？まさこまだイってないし。

ごごめん……オレも理由が分から  
ないんだ……最近仕事で疲れてるせ  
いなのかな……

この一週間ずっとこうじゃな  
い！まさこの寝込みを襲わない  
とできないって……  
まさか私の体に興味がなくなっ  
たとか……？

なっ、そんなことない！今の吉乃ちゃんのままで大丈夫  
夫だ！バカなことを言っんじゃないー

だってまさこは最近仕事で、たくさんの膨乳病患者を見てきたん  
じゃない……やっぱり、ああいうのが好きなんじゃない？



もし吉乃ちゃんがあんなつたら……いや、冗談じゃない！でも……



ほら、患者さんのこと想像してたら硬く  
なったじゃない！やっぱりまさとはいあ  
いうのが好きなんだ〜うう……

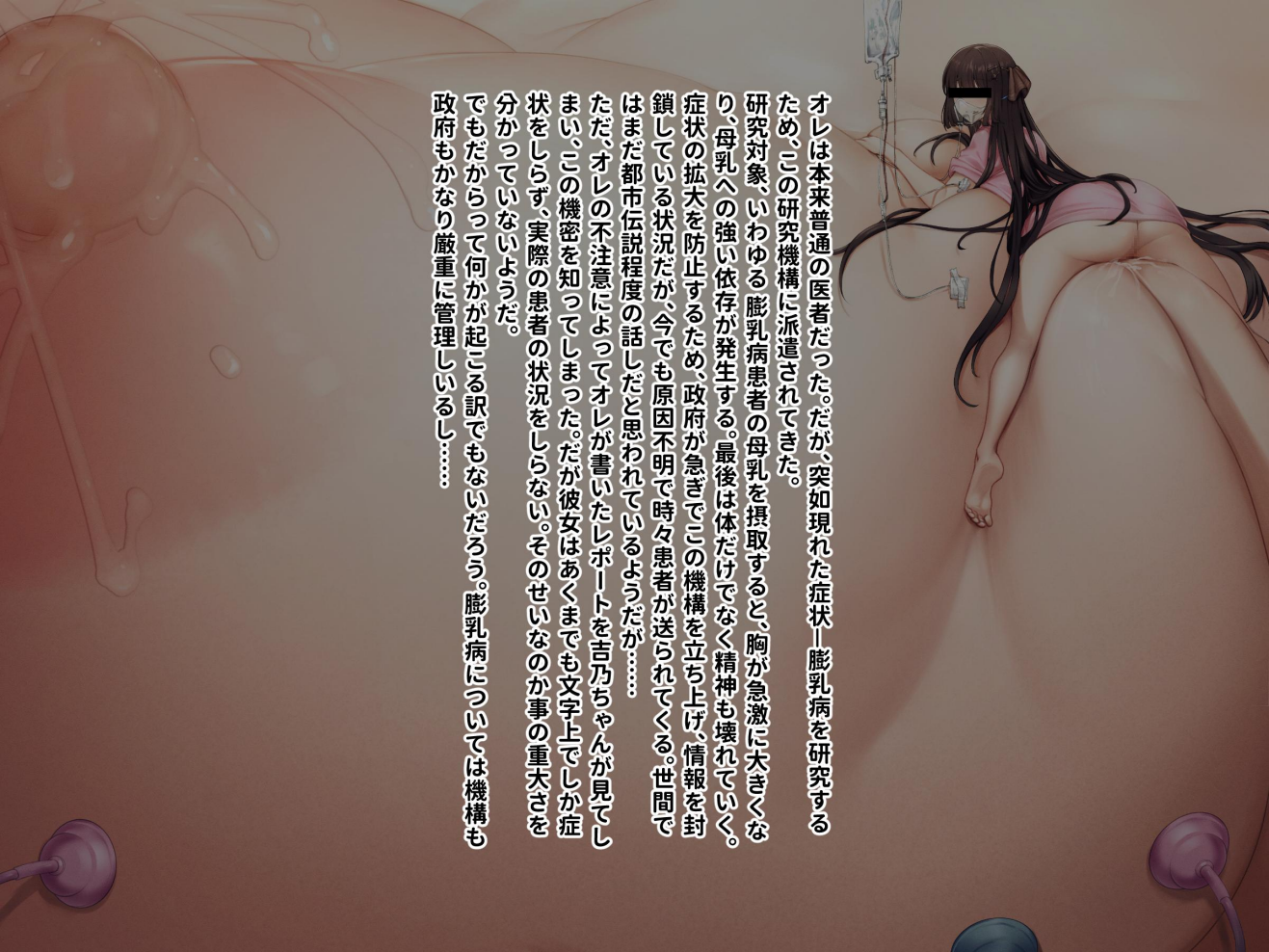
いやいや、ない、絶対がない！たくさんの  
患者見て来たけど、全員廃人状態だよ！  
キミは絶対にああならないでくれ！

でも、だって……

だってじゃない。オレは今の吉乃ちゃんが大好きなんだ。バ  
カなことは絶対はやめてくれ。なっつ。

分かったわよ……





オレは本来普通の医者だった。だが、突如現れた症状―膨乳病を研究するため、この研究機構に派遣されてきた。

研究対象、いわゆる膨乳病患者の母乳を摂取すると、胸が急激に大きくなり、母乳への強い依存が発生する。最後は体だけでなく精神も壊れていく。症状の拡大を防止するため、政府が急ぎでこの機構を立ち上げ、情報を封鎖している状況だが、今でも原因不明で時々患者が送られてくる。世間ではまだ都市伝説程度の話だと思われているようだ……

ただ、オレの不注意によってオレが書いたレポートを吉乃ちゃんが見てしまい、この機密を知ってしまった。だが彼女はあくまでも文字上でしか症状を知らず、実際の患者の状況を知らない。そのせいなのか事の重大さを分かっていないようだ。

でもだからって何かが起こる訳でもないだろう。膨乳病については機構も政府もかなり厳重に管理しているし……



放課後、夜



うう、やっぱりまなとはあんなのが好きなんだ……  
私、自分の胸だけっこう自信あったのに……

やあ、お嬢ちゃん、なにか悩んでいるところもあるよつだねっ。ん  
どっ、その悩み、何かで解決できるかもしたらならあつ。んは、  
受け取ってっ。……

えっ、全員ロープレのおおじさん  
ん……あやしてっ……

彼氏さんをたもつと變はわたらのなら、使いたいんぢな  
ん……クククッ……

えっ、これってまさか……あっ、おじい……っ、いなくな  
ってる……

これって……牛乳？あれだよね……

噂で飲んだら大きくなるって皆が言ってる……

どこまで大きくなるんだろう？私もうHカップあるんだけ  
ど……

でも、まさかが好きなら使ってみてもらいよな……

